

# 社会と大学をつなぐ 産官学連携活動

2022年度より、産官学連携にかかる部門は、研究推進本部にて「産官学連携推進センター」と「イノベーション推進部門」へと発展改組し一層の拡充が図られました。

本学が誇る医学研究や知的財産を積極的に社会活動と連携させ、広く世の中に還元することを目的とし、企業との共同研究・寄付講座、知的財産の創出・技術移転、大学発ベンチャー支援、アントレプレナー(起業家)教育、研究シーズ・ニーズのマッチング、研究戦略の立案、法規制・契約、市民公開講座の開催等、アカデミアと社会を結ぶ懸け橋としてその活動は多岐にわたっています。

## 直近の主な活動

### スタートアップの育成・支援 ベンチャーキャピタルを設立

2022年11月7日、藤田学園の100%子会社である株式会社フジタ・イノベーション・キャピタルと東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社が100%出資する東海東京インベストメント株式会社は共同で、ベンチャーキャピタルファンド「フジタTTインパクト1号投資事業有限責任組合」を設立しました。

フジタTTインパクトファンドは、本学が有する知的財産の社会実装化を目的として設立。投資対象は、本学発のスタートアップ企業や本学および大学病院と共同研究を行うベンチャー企業とし、地域医療・遠隔診療、再生医療、創薬・検査薬、医療機器、リハビリ・介護などバイオサイエンスを含むヘルスケア全般への支援を展開していきます。



先端医療技術・DX化へ投資「フジタTTインパクト1号ファンド」

学校法人 藤田学園

東海東京フィナンシャル・グループ

記者会見に出席した(前列左から)湯澤由紀夫学長、東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 石田建昭代表取締役会長(後列左から)株式会社フジタ・イノベーション・キャピタル 豊島光取締役、齋藤邦明代表取締役、東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 合田一朗代表取締役社長、東海東京インベストメント株式会社 司門一彦代表取締役社長

### Tongali主催の IDEA PITCH CONTEST2022で 本学大学院のチームが Tongali賞を受賞

本学では起業家教育の一環として、大学院保健学研究科に「アントレプレナーシップ概論」(担当: 村川修一准教授、他学部の学生も聴講可能)を開講しています。受講した学生たちは起業アイデアを出し合い、議論を深め、ビジネスプランをまとめます。その集大成として、東海地区18大学による起業家育成プロジェクト“Tongali”主催の起業アイデアを競う「IDEA PITCH CONTEST 2022」に応募したところ、本学大学院 レギュラトリーサイエンス分野 修士課程1年生のチーム「Zerony」が上位5チームに贈られる Tongali賞を受賞しました。



Zeronyは「毛の悩みをゼロに」というテーマで発表し、抜け毛やムダ毛と腸内細菌の関係に着目した点が評価されました。2022年11月12日に名古屋市内で開催された本選で、名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部長 佐宗章弘副総長から表彰状が手渡されました。

### スマートホスピタル実現に向け サービスロボットのトライアル導入開始

技術力を持つ企業へ大学の研究力を提供し、製品開発に協力していくことも大学の役割の一つです。本学では2021年10月から医療従事者の負担軽減・業務効率化をめざし、川崎重工業のサービスロボットを藤田医科大学病院内のインフラや情報システムと連携させ、屋内での物資配送の実証実験を行ってきました。

2023年7月10日より3台の屋内配送向けサービスロボット「FORRO(フォーロ)」のトライアル運用を始め、24時間体制で院内での検体配送や薬剤配送業務を行っています。

